

配慮の視点	種の多様性への配慮 遺伝子の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の移動を阻害する要素の排除
配慮事項	野生動物の移動ルート確保		
配慮事例	鳥類や飛翔性昆虫類が自動車に衝突しないような植栽木の高さの維持		

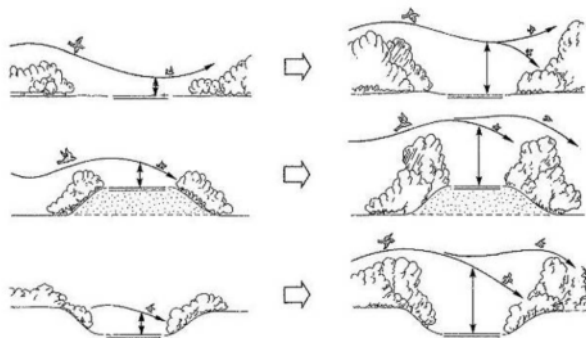
●鳥類や飛翔性昆虫類に配慮した横断誘導植栽の工夫

【解説】

鳥類や飛翔性の昆虫類は、道路を横断するときに十分な飛行高度が確保されないと走行する自動車に衝突するので、道路周辺に高木になる樹木を植栽することが生物多様性への配慮につながります。

【具体的な工法・配慮事項】

①鳥類と昆虫類を保護するための植栽手法



出典:1

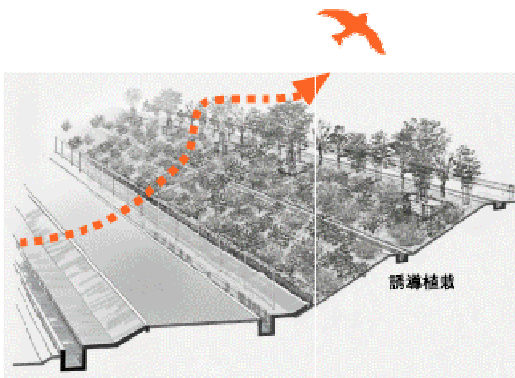
②横断高度による鳥類の種別

横断型	高さ幅	横断する際、比較的一定範囲の高度で飛ぶ種類	横断する際、比較的幅広い範囲の高度で飛ぶ種類
高空横断型 (主に 8 m 以上)		トビ ハイタカ ノスリ オオジロバト アマツバメ	ツバメ ベニマシコ ムクドリ ドバト
中高度横断型	比較的高い種 (主に 4 m 以上)	アトリ イカル マヒワ ホトトギス セアカセキレイ メジロ	シメ ビンズイ ヒガラ アオガラス シロハラ シジュウカラ キジバト
	比較的低い種 (主に 2 m 以上)	コゲラ ヒメ コムクドリ オナガ オケス	ハクセキレイ カッコウ エナガ アオガラス
低空横断型 (主に 2 m 以下)		スズメ ハシロガラス キセキレイ アカハラ ヤマガラス	ウソ ウグイス ホオアカ オナガ アカモズ

内容

- ① 植栽の高さが低いために鳥類や昆虫類の飛行高度が不足する場合は、高木の植栽によって高度を確保します。
- ② 種類により飛翔高度が異なるので、対象種に応じた植栽を実施します。

**【事例】**



出典:2

**【場所】**

兵庫県豊岡市 北近畿豊岡自動車道

**【環境配慮の内容と方法、工法】**

- ・ 道路の斜面には、地域の樹木を植樹し鳥が車と衝突しないように誘導植栽を設けます。

留意点

- ・ 樹林を伐開した区間や鳥類の移動ルート部分に設置する。
- ・ 原則として郷土種を用いる。
- ・ 食餌植物を利用する場合は過度の誘引を発生させないように、植栽密度を低くする。

参考資料

- 1 「エコロード 生き物にやさしい道づくり」 亀山章編、ソフトサイエンス社
- 2 豊岡河川国道事務所 HP  
([http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/jigyo/route483-kitakinki/route483\\_2.html](http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/jigyo/route483-kitakinki/route483_2.html))